

# 同窓会報

第 64 号

令和 2 年 12 月 15 日

編集・発行

愛知県立国府高等学校同窓会

〒442-8586

豊川市国府町下坊入 10-1

Tel・Fax

0533-82-2673

印刷／大林印刷



## 感謝と御礼

愛知県立国府高等学校同窓会

会長 小田 伊佐浩  
(三十一回生)

国府高校同窓会の皆さまには、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃は同窓会活動並びに母校の発展のためにご支援ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

本年度は、ご承知の通りコロナウィルス感染拡大のため、五月に開催予定の総会をはじめ、定例委員会（年次代表会）等、多人数での会議を中止せざるを得ない状況でありました。各機関ご了解の上、少人数で行う常任委員会（執行部会）での決議をもとに事業を遂行させていただいておりますが、改めて会員皆様におかれましては、ご理解・ご了承のほどよろしくお願い申し上げます。

会の準備に奔走された担当回生（22・32・42・57回生）の皆様には、お礼とお詫びを申し上げます。さて本年度は、国府高等学校創立一〇〇周年であります。コロナ感染防止のため止む無く記念式典および記念講演会は一年延期となりました。しかし、正門・中庭等整備は予定通り遂行し、八月二十四日に完成記念式典を執り行うことができました。これもひとえに同窓会員の皆様のご支援ご協力の賜物と感謝申し上げます。二年前よりその都度お願い申し上げた一〇〇周年記念事業募金ですが、総額五、五八〇万円のご寄付を戴くことができました。これに八十周年・九十周年からの預かり金を加えさせ

ていただき、約七〇〇〇万円が目録金額（実行予算）達成となりました。大島実行委員長共々、ご報告と共に皆様のご厚情に深く、深く感謝申し上げます。

機会がございましたら、新正門及び中庭の景観、スクールマークと国府高のアイデンティティー、瓢箪池の奥の日本庭園に移設した国府高等女学校時代の校訓碑に刻まれた「質実・温雅・創造」などを是非ご覧になっていただきたいと思っております。

コロナ感染症における影響は国難ともいえる状況です。しかし日本人は、感染症だけではなく幾多の国難を乗り越えてきました。近い将来必ずやこの状況を克服し、より安心できる社会を築くでしょう。コロナ克服に関係する多くの本校同窓生の活躍に期待いたします。

終わりに、会員三万二千余人の皆様のご健康ご多幸を切に願ひ、会報での感謝とお礼いたします。



## 正門・中庭の完成、謝辞

愛知県立国府高等学校

校長 伊與田 万知  
(三十三回生)

この春の定期人事異動により、愛知県立国府高等学校長を拝命し、四月一日に着任いたしました伊與田と申します。本校三十三回生（昭和五十六年三月卒）でもあり、生徒として、教職員として母校で過ごすことができることはこの上ない喜びです。

母校は、今年度、創立一〇〇周年を迎えました。しかしながら、全国の学校が、新型コロナウイルス感染症の拡大により、三月から五月末までの約三か月間、前例のない臨時休業となつてしまいました。そのため本年度十月二十四日に予定していた記念式典・記念講演会は延期となり、多くの方々の期待に沿えない結果となっております。

それでも、皆様方のおかげをもちまして正門・中庭等整備事業は着実に進み、去る八月二十四日に完成式典を挙行することができました。愛知県独自の緊急事態宣言下であったため、代表生徒のみの参加という規模を縮小した形での式典でしたが、完成を祝い、同窓会の皆様方に心より感謝の意を伝えたく謝辞を述べさせていただきます。

さて、昨年度、新正門のデザインを考えるにあたり、生徒、保護者、教職員、同窓生の皆様方が抱えている母校への思いを何らかの形に表現しようという試みがなされました。アンケート調査等が実施され、結果として「穏やかな風土とのびやかな雰囲気の中、自由と伝統を重んじる校風に支えられ、お互いが強い信頼関係で結ばれている」という総意を得ることができました。その思いがデザイン化されたプレートが、スクールマークとして新正門の内壁部分に貼込まれています。「国府高校の「K」の字を起点に、自由に、しなやかに、やわらかに、生徒たちの未来の可能性が膨らんでいくこと」が表現されました。

伝統ある校章が正門正面に、新スクールマークが内側に設置され、この門を通る度に、ここで学び、ここで育つた生徒たちの未来に無限の可能性が広がってほしいという思いがこみ上げてきます。引き続き、同窓生の皆様方からの御支援・御鞭撻をいただきながら、この思いを実現すべく、本校の教育の充実と発展に全力で取り組む所存です。

# 令和2年度 同窓会総会・担当回生から寄稿いただきました



令和2年度総会は、5月17日(日)に開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止いたしました。そこで、総会・懇親会のため尽力いただいた担当回生の22、32、42、57回生の代表の方からご寄稿いただきました。担当回生には、郵送希望者以外の方も今回、特別に会報を送付しました。



## 自由の風を若人が……

三十二回生 杉江 恭司



七キロ余りを牛久保から自転車で通いました。小田淵を過ぎて開ける「緑映ゆ学びの園に」(校歌)、真っ白で横に長い母校の姿は、心に強く残っています。学年五五〇名、普通科は七クラス、男女別でした。私の一年五組だけ男女混合でしたが……。

思い出すのは、第一に広い体育館・プール完成。私のいた庭球部は、コート移転で何度もローラーを引きコート整備……。続いて、みんなの強い願いで復活したファイヤーフェスティバル。流行りのフォークを皆で声高らかに歌いました。他には、購買でパンを求めて



の「早弁」、部活動帰りの店先での友との語らい、弘法山でのサッカー、東大紛争・全共闘などの学生運動……。

そして、卒業旅行で庭球部の友と九州へ。夜行急行「高千穂」、均一周遊券・ユースホステル利用での「節約旅行」。ちよつびり「大人気分」を味わい、最高に楽しかった思い出です。

「自由の風を若人が」(応援歌)、を絵に描いたような、時間の流れが緩やかな日々でした。



国府高校の歴史に輝く甲子園出場記録。中日で活躍した青山投手。巨人の原選手とともに東海大に進んだ後、横浜で活躍した市川捕手。我々世代にとつて懐かしく誇らしい記憶である。

昨年、マスターズ甲子園という大会に国府高校が出場したのでご存じだろうか。PL学園から桑田投手も参加したことで話題を呼んだ大会である。当時の記憶が蘇ることを期待しつつ、私は観戦に出かけた。ひとつ先輩の鈴木氏と同期の菅沼氏がチームのまとめ役となり、選手



## 甲子園の記憶

三十二回生 村上 雄二



の大半は三十代〜四十代の総勢五、六十名のチーム。甲子園後の選手たちのなか、唯一の甲子園前の選手、野球部の監督も務められた山田氏がマウンドに立つ姿は圧巻であった。憧れの甲子園の土を踏んで嬉々としたプレーを続ける選手たち。現役野球部の選手と現役吹奏楽部の生徒もスタンドを埋めた。貴重な体験に大興奮したことだろう。

しかし、私は今や甲子園は「記憶」から「記録」の中の出来事になりつつあることも感じたのだった。



# 画面越しの仲間と

四十二回生 兵藤 美樹

十五年前、初めて総会、懇親会に参加させていただきました。その時、十五年後には幹事回生、そして創立一〇〇周年ということを知り、責任の重さを意識しました。

今年までに、何度も同窓会を開催し、一〇〇周年にむけて仲間とのつながりを強めてきました。本格的な準備に入ろうとしていた頃、コロナウイルスの感染拡大防止のため、同窓会の中止が決定しました。

懇親会のアトラクションでは、当時のFF(ファイヤーフェスティバル)を再現する予定でした。キャンプファイヤーを模したものを囲み、フォークダンスを踊ろうと考えていました。幹事の仲間たちとフォークダンスの練習をした時には、高校時代を思い出し、意外な盛り上がりで、みんな自然と笑顔になっていました。

学校での同窓会は中止になりましたが、このままでは寂しいと、同級生よりオンライン同窓会の提案がありました。急遽ですが、同窓会が予定されていた同日、同時時間帯でオンライン同窓会を開催しました。当日は

海外や県外からの参加もあり、二十三人での開催となりました。一〇〇周年記念誌の打ち合わせで学校に行っていた仲間から、現在の国府高校の様子をビデオ中継してもらい、久しぶりに学校の様子を見て、当時の雰囲気共有できました。画面越しでしたが、同級生と有意義な時間を過ごすことができました。十年後の同窓会では、恩師の方々と同級生の皆さんが、元気で集まれることを願っています。



2019年9月7日 『半年後の卒業30周年同窓会へ向けた決起集会』の時の写真先生!! 次回同窓会で会いましょう!!



# 懐かしの母校

五十七回生 杉本 耕平

早いもので、気づけば卒業から十五年もの月日が流れました。今回の総会・懇親会は、新型コロナウイルスの影響で開催することができませんでしたが、事業委員会や定例委員会に参加させていただく中で徐々に母校に足を踏み入れることができました。とてもうれしく思うのと同時に、懐かしい思い出が込み上げてきました。私は高校時代野球部に所属し、二十名を越える同級生たちと一緒に汗を流しました。練習や試合だけでなく、練習後にたわいもない話で盛り上がったのもよい思い出

です。卒業後はなかなか集まれる機会がなく残念に思っていますが、またいつか、部員みんなで集まり、当時の思い出を語り合いたいと思っています。

十五年後には我々が担当回生として総会・懇親会を運営することになります。わからないことばかりでも不安ですが、先輩方にご助言をいただきながら、参加してくださる方全員が楽しめる会にしたいと思っております。その時は五十七回生のみならず、ぜひご協力をよろしくお願いたします。



野球部

## 第二十九回 光風会ゴルフコンペは 中止となりました

恒例の光風会ゴルフコンペは令和二年十月二日(金)に平尾カントリークラブで開催予定でしたが、プレイ後の表彰式等で三密を避けることから、中止とさせていただきます。

次回は、四十三回生が担当となりますが、コロナ禍が過ぎてくれるといいですね。



# ある考察

三十三回生 渡辺 一恵



三十歳の時、久々に国府高校を訪れた。懐かしい先生方との再会を果たし、僕は不思議な事に気付く。昔ビシビシと感じた「大人のオーラ」が先生方から消えていた。僕はその理由を突き止められないまま母校を後にする。それから時折あの時の先生方を思い出し「オーラが消えた理由の考察」を繰り返すようになっていく。もしかしたらとある時思う。自分も年を重ねて色んな大人達と出会いオトナへの免疫が出来た為、先生方に対し必要以上に畏怖の念を抱かなかったのではないかと。先生ではなく自分が変わったのだという考察。しかし待てよと、ある時思う。もしかしたら先生方は「先生」と言う肩書きを外して僕の前に立っていたのではない

大阪芸術大学舞台芸術学科修了。劇団☆新感線、劇団状況劇場を経てフリーに。数々のプロデュース公演出演後、NHK朝の連続テレビ小説「ひらり」のオーディションに合格。活動の場をテレビに移す。令和三年から放送予定のNHK大河ドラマ「青天を衝け」に藤田東湖役で出演予定。ゆうばり国際ファンタスティック映画祭2019観客賞を受賞した主演映画「いつくしみふかき」が全国公開中。平成三十一年に「きらつと☆とよかわ」が全国公開放中。就任

いか？人は皆「役者」だ。誰もが色んな役を演じながら生きていく。仕事場で、家庭で、居酒屋で。先生だって人間だ。役をおりたい時だってあるだろう。恐らく先生の本分は在学中の生徒に対し教育を施す事であり、卒業生への義務はないはずだ。あの時の僕は先生方にとって元落ちこぼれの卒業生であり「肩の力を抜いて気楽に話せる訪問者」だったのではないかと。だからどの先生も見た事のない柔らかな笑顔で接してくれたのではないかと。「こんなものもあるぞ」とウイスキーの小瓶をチラリと見せた先生までいた。そうだが、あの時先生方は「先生」と言う肩書きを外し、僕と束の間の休息を楽しんだのに違いない。その結論づけた。しかし三年前、その結論は根底から揺らぐ。

た恩師である。先生は「家族に叱られるから帰らなやいかん」と言いつつ熱弁を振るい会場を沸かせた。その先生と二人きりになった時、不意に言われた。「お前本当は留年だったぞ」確かに僕は洒落にならない落ちこぼれで、進級の際にも特別テストを受けギリギリの点数で落第を免れた。と思っていた。「本当は点数が足らんかっただよ。でも何とか皆んなと一緒に卒業させてやりたい」と先生達が上に掛け合ってた。近藤先生はそう言って笑ったが、僕は一気に酔いが覚めた。その詳細を聞く暇もなく先生はお帰りになり、それが近藤先生との最後の会話になった。

再びあの日を思い出し、誤解を恐れずに考察してみる。あの日の先生方に僕がオーラを感じなかったのは、僕が大人になったからでもお気楽な訪問者だったからでもなく、先生方が僕の訪問を只々心の底から喜んでくれたからではないだろうか？

そう、結論してみる。

## 令和二年度同窓会役員

会長	小田伊佐浩
副会長	原田利恵
会計	大島嗣雄
会計監査	関原秀一
書記	宮地良和
顧問	杉村大介
参与	佐竹裕子
	鳥山淑子
	中山武久
	木村晋也
	青竹秀樹
	大谷敏之
	林矩道
	和久田強
	片桐逸司
	山脇実
	伊與田万知
	山田介三
	大河原皓視
	中島剛
	恩田やす恵

## 第72回卒業生クラス代表者

1組	西川 功
2組	笠原 千夏
3組	日比 涼太
4組	青柳 彩華
5組	鈴木 悠介
6組	政本 奈瑞菜
7組	市丸 謙悟
8組	関 保乃花
	山本 優真
	加藤 真子
	辻 哲也
	鈴木 千晴
	白井 悠太
	浅野 智佳
	早川 颯太
	鳥山 涼

## [令和3年度総会・懇親会]

- 日 時：令和3年5月16日(日) 午後1時～
  - 会場：国府高等学校体育館
  - 会費：5,000円
  - 該当回生：23回生（卒業50周年）  
33回生（卒業40周年）  
43回生（卒業30周年）  
58回生（卒業15周年）
- ※準備等の都合により当日の申込はできません。事前にお申し込みください。  
(同窓会事務局(購買) 電話 82-2673)  
実行委員長 43回生 井指 宏隆  
※新型コロナウイルス感染症の状況により変更・中止する場合があります。

## [ゴルフコンペのお知らせ]

- 日 時：令和3年10月1日(金)
- 会場：平尾カントリークラブ
- 定員：200名(予定)
- 申し込み・問い合わせ先  
ゴルフ担当 43回生 太田 勝久



部活動の結果・成績

弓道部男子が全国高等学校選抜大会で五位入賞しました

弓道部男子が令和元年十一月九日に行われた愛知県高等学校選抜大会で準優勝し、十二月二十二日から二十五日に行われた全国高等学校選抜大会に出場しました。十六校に与えられる決勝トーナメントへの厳しい予選を突破し、翌日の決勝トーナメントに出場し、トーナメント一回戦を勝利し、全国第五位に入賞しました。

なお、十一月二十二日から二十四日に行われた第三十八回東海選抜大会でも準優勝しています。

◆弓道部

後藤啓明君のコメント

僕たちはこの一年間、全国大会を目標として日々練習に励んでいました。そして練習の成果が実り、県大会で二位になりました。念願の全国大会の出場を果たしました。全国大会の会場には名だたる強豪校をはじめとした五十一校の高校が集結していました。高校の大会ではチーム全員が初めての全国大会だったため、緊張してしまい練習ではあまり調子が良くなかったのですが、本番の予選を通過したことで勢いに乗ることができ、翌日のトーナメント一回戦で勝利し、五位に入賞することができました。全国大会壮行会では、先生方や野球部をはじめとする多くの方々から応援をしてくださりました。本当にありがとうございました。

◆弓道部

平出陸君のコメント

表彰台を目指し、挑んだ全国大会。開催される群馬県へ向かう道



中は、楽しみで胸が高鳴っていました。大会の公式練習では、当てることばかりを意識してしまいました。自分の射をすることができませんでした。不安な気持ちのまま迎えた大会。仲間と「いつも通り楽しんでいこう」と声を掛け合うことで心が落ち着きました。五十一校中十六校に絞られる厳しい予選。今までの経験から、一射一射を大切に引くことを心がけ、仲間を信

じ、自分を信じることで、予選を突破することができました。大会が進むにつれて、楽しんで引けるようになり、五位に入賞することができました。大会を通じて応援してくださった方々に感謝しています。ありがとうございました。

◆弓道部

安藤巧真君のコメント

僕は弓道を中学生の時からやっています。緊張に弱く中学時代は目立った成績を残すことができませんでした。ですが、この国府高校の弓道部に入って、試合に近い雰囲気での練習や多くの大会への出場を経験して、緊張に負けないメンタルを手に入れることができました。努力が実り、こうして結果を残すことができたのは初めてのことなので、一生忘れないと思います。これからは自分たちが引く張っていく立場になります。悔いの残らないように精一杯頑張りたいと思います。今回の大会で努力の大切さを実感しました。また、多くの方々の協力や応援がとても力になりました。ありがとうございました。

◆弓道部

顧問 杉山有希先生のコメント

本校弓道部は生徒が主体的に活動しており、練習内容やチーム決めといったことを生徒が考えて行っています。この度、全国大会に出場できたのは、部員全員の力によるもの、また、日々応援してくださる方々のおかげだと思います。今回出場した選手たちは、真摯

に弓道と向き合い、時に悩み苦しみながらも、努力を重ねることを惜しみませんでした。その努力が報われ、全国大会団体五位という成果を残してくれたことを誇りに思います。また、張りつめた試合の後の、選手たちの満ち足りた顔、学校で応援してくださっていることを知って喜んでる姿が特に印象深かったです。最後にになりましたが、応援してくださって本当にありがとうございました。応援していただいたことを力にして、これからも部員全員でひたむきに練習に励んでいきたいと思っています。

同窓会生徒支援事業

同窓会では、生徒支援の一環として、弓道部男子を激励するため、武道場前のフェンスに写真のように横断幕を設置いたしました。



- 【弓道部】
  - ・愛知県高等学校選抜大会 男子団体 準優勝
  - ・第38回東海高等学校選抜大会 男子団体 準優勝
  - ・全国高等学校選抜大会 男子団体 5位
  - ・弓道選手権 県大会出場
  - ・夏季愛知県高等学校大会 ベスト32
- 【野球部】
  - ・愛知県高校野球選手権大会 ベスト16
  - ・全三河高校野球大会 3位
- 【陸上競技部】
  - ・新人体育大会東三河支部予選 男子 やり投げ 2位
  - 800m 6位
  - 女子 走り幅跳び 5位
  - 三段跳び 5位
  - 800m 4位
  - 県大会出場
- 【サッカー部】
  - ・全国高校サッカー選手権大会 東三河支部予選
  - ・ブロック優勝 県大会出場
- 【ソフトテニス部】
  - ・新人体育大会東三河支部予選 女子 団体戦 5位
  - 個人戦 9位 県大会出場
- 【水泳部】
  - ・新人体育大会東三河支部予選 女子 50m自由型 3位
  - 100mバタ 2位
  - 100m背泳ぎ 3位
  - 200m背泳ぎ 3位
  - 200m個メド 6位
  - 100m平泳ぎ 2位
  - 400mメドレー 3位
  - 県大会出場
- ・新人体育大会(県大会)
  - 女子 100mバタフライ 7位
  - 200m背泳ぎ 5位

令和2年3月 卒業生進路状況 (既卒生含む)

令和元年度の大学等入試結果および就職状況は次の通りです。普通科については、名古屋大6名(現役5)、東北大1名(現役)、一橋大1名(浪人)、九州大1名(現役)が合格したのをはじめ、国公立大学へ135名(現役128)が合格を果たしました。合格校は、北海道から九州・沖縄まで全国に広がっており、自分のやりたいことを求めて最後まで粘り強く頑張り続けた結果がうかがえます。私立大学については、早稲田・慶應・明治・立教・法政・東京理科・同志社・関西学院・立命館など県外の有名私立大学をはじめ、南山大48名、愛知大106名、名城大98名など愛知県内の大学にも多数合格を果たしました。経済・経営・商学部を中心に社会科学系の学部が人気の状況です。総合ビジネス科については、名古屋外国語大や名古屋学芸大等四年制大学をはじめ短大・専門学校への進学者が過半数となりました。就職状況は、生徒本人の希望にもとづき、地元の優良企業を中心に事務職・技能職など14名が就職をしています。

※以下の進路状況は、令和2年4月現在、本校で把握しているものです。

【普通科】

Table with 2 columns: 国公立大学 (University Name,合格者数) and 私立大学 (University Name,合格者数). Lists various universities and their respective number of graduates.

Table with 2 columns: 私立大学 (University Name,合格者数). Lists private universities and their respective number of graduates.

Table with 2 columns: 専門学校 (School Name,合格者数). Lists vocational schools and their respective number of graduates.

Table with 2 columns: 専門学校 (School Name,合格者数). Lists vocational schools and their respective number of graduates.

【総合ビジネス科】

Table with 2 columns: 私立大学 (University Name,合格者数). Lists private universities for the Business Administration course.

Table with 2 columns: 短期大学 (Short University Name,合格者数). Lists short-term universities for the Business Administration course.

Table with 2 columns: 専門学校 (School Name,合格者数). Lists vocational schools for the Business Administration course.

Table with 2 columns: 国公立短期大学 (National/University Short-term University Name,合格者数). Lists national/public short-term universities.

Table with 2 columns: 私立短期大学 (Private Short-term University Name,合格者数). Lists private short-term universities.

Table with 2 columns: 大学校 (University School Name,合格者数). Lists university schools.

Table with 3 columns: 就職先 (Employment Place), 人数 (Number of Graduates). Lists employment destinations and the number of graduates.

本年いただいた寄付金

◆「同窓会活動協力支援」 寄付金

318名 1,146,000円

※この寄付金は、同窓会が、入会時の会費のみにより運営されており、本会を維持、発展させるため、平成25年度に創設されたものです。

ご寄付ありがとうございました

今後とも一層のご支援をお願い申し上げます。

ご確認ください

- 今回、1枚又は2枚の振込用紙を同封いたしました。
- 1枚は、令和3年度の会報65号～令和6年度の会報68号までの郵送代金振込用紙です。(既に振り込まれた方には、同封していません。)

振込先：郵便局 00830-2-53271

- もう1枚は、「同窓会活動協力支援」寄付募集の振込用紙です。随時・適時に、よろしく願い申し上げます。

振込先：郵便局 00860-7-215194

記念写真・証明写真・出張撮影  
スクールフォト・カラープリント即日仕上げ

studio  
Photo **UZUKI**  
since 1938. **鈴木写真館**

名鉄国府駅前

〈TEL〉0533-87-3271

豊川市久保町榎田13 〈HP〉www.p-s-s.net  
〈営業時間〉火曜定休(祝祭日除く) AM9:00~PM7:00  
鈴木一生 (42回生)・鈴木洋子 (44回生)

印刷一般

**大林印刷**

大林 久美栄(国高13回)  
大林 久子(国高38回)

豊川市久保町下屋敷39番地  
TEL (0533) 88-2281  
FAX (0533) 88-6299

有限会社

**ミト小田鉄工所**

代表取締役  
**小田 伊佐浩**  
(31回生)

〒441-0321  
豊川市御津町広石五反田31番地  
TEL 0533-76-2720 FAX 0533-76-3093

**M S F Mitaki Space Factory**  
Architectural Design ミタキスペースファクトリー

**Fun Factory**  
community cafe

代表 井上 貴仁 (第43回生)  
井上 暁子 (第43回生)

〒442-0029 豊川市末広通3-16-1  
TEL / FAX (0533) 80-0066  
http://www.mitaki.net/

健康大葉で食文化の彩りを創る

**熊谷園芸**

熊谷 隆(第42回生)

〒442-0804 豊川市二葉町中西浦26  
TEL (0533) 89-2552

超高層ビルから住宅まで鉄骨建築のエキスパート  
国土交通省認定 Hグレード

**東和鋼業 株式会社**

〒442-0824 愛知県豊川市下笠山町高畑5番地  
http://www.fab-towa.co.jp

**HAKUYO**

株式会社ハクヨーコーポレーション  
http://www.hakuyo-group.com/

三重県英虞湾真珠協会

会長 磯和 和治  
三重県志摩市志摩町越賀

(株)英虞湾真珠協会エンタープライズ  
代表取締役・協会常務理事 竹本 潤 26回生  
豊川市八幡町本郷

お客様ご案内センター 0533-87-3703

宮地総合保険 × SDGs

豊川福荷正門北 150m  
0120-86-2414

お任せ下さい!  
新築・リフォーム・耐震補強

**(株)柘植建設**

柘植 敬介(第43回生)

豊川市久保町向田1番地の10  
TEL (0533) 88-3207

**waltz**  
ワルツ株式会社

片桐 逸 司(国高15回)  
片桐 近 義(国高17回)

本社 〒441-8077 豊橋市神野新田町二の割2-1  
Tel(0532)33-3510 Fax(0532)33-3515

建物の塗装・防水工事のことならご相談下さい

**株式会社杉村塗装**

代表取締役  
**杉村 大介** (第43回生)

〒442-0845 豊川市国府町上河原4 1番地の2  
TEL0533-87-5410 http://www.peintre.co.jp

◆自動車内装用部品製造◆  
◆工業化住宅用部品製造◆

**宇都宮工業株式会社**

土井 義昭(国高8回)

本社/豊川市大木町柏木2番地1  
☎(0533)93-2626(代)

新城工場/新城市八名井字赤松1番7  
☎(0536)26-1680(代)

**和久田歯科医院**

高35回生 和久田 交史  
高4回生 和久田 強

豊川市蔵子1丁目26番地44  
TEL 0533-86-3465

大切にしたい、ほっとするひと時

**いさし園**

代表取締役社長 井指 宏 隆(第43回生)  
井指 美 紀(第43回生)  
井指 妙 子(第19回生)

**井指製茶株式会社**

本社工場 愛知県豊川市市田町大道下22-2  
TEL(0533)86-2273(代) FAX(0533)84-3811  
http://www.isashien.jp/